

# 日本企業に対するPE投資の動向 (2025年)

2026年4月  
株式会社産業革新投資機構

- 株式会社 産業革新投資機構（JIC：Japan Investment Corporation）では、自らの投資活動のために国内外の市場の動向に関する調査を実施しています。本資料は、その調査内容の一部を参考情報として開示するために整えたものです。
- 以下、特にことわりのない限り、2026年1月8日時点で入手可能な情報に基づいて資料を作成しています。

- 当資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は、特定の金融商品等の取得・勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料に掲載されている情報は、特段の断りがない限り、当資料の作成日時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料の作成には万全を期していますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。利用者がこの情報を用いて行う一切の行為（この情報を編集・加工した情報を利用することを含みます。）について、弊社は何ら責任を負うものではありません。
- 当資料の著作権は、当資料に記載された関係者ないし当社に帰属しており、目的を問わず、無断で複製、引用、転載等を行うことはできません。複製、引用、転載等をご検討の際は、当社までご相談ください。
- お問い合わせ先：[https://www.j-ic.co.jp/jp/contact/other\\_form/](https://www.j-ic.co.jp/jp/contact/other_form/)

1	ディール	p.5
	日本企業のM&A	p.6
	大型M&A案件 (2025年：金額上位20件)	p.7
	日本企業に対するPE投資	p.8
	大型PE投資案件 (2025年:金額上位10件)	p.9
	(参考) 2021年以降の大型PE投資 (金額500億円以上)	p.10
	投資テーマ別の傾向 (カーブアウト・非公開化)	p.11
	投資テーマ別の傾向 (追加買収・グロースキャピタル)	p.12
2	エグジット	p.13
	PE投資のエグジット	p.14
	PE投資の大型エグジット案件 (2025年：金額上位10件)	p.15
3	ファンドレイズ	p.16
	日本を主たる投資対象とするPEファンドの募集状況	p.17
	日本を投資対象に含む海外PEファンド	p.18

## ディール

- 2025年の日本企業のM&A金額は過去最大の33兆円。
  - 大型案件が全体を牽引（大企業の事業再編や非公開化案件、海外企業の買収・出資など）。
- PE投資金額(4.4兆円)も、大型の非公開化案件が複数あった2023年に次ぐ過去2番目の水準。PEファンドは、日本企業の大型M&Aにおいて有力な買い手となっている。
  - 大型PE投資案件(規模: 500億円超)の数は増加傾向。主な買い手は海外のPEファンド。
  - しかし、大型のカーブアウト案件は少数にとどまる。
  - 大型の追加買収は2025年には発生せず。
  - グロースキャピタルも引き続き少数。

## エグジット

- PE投資のエグジット件数(M&AとIPOの合算)は過去最高の121件と(前年比22件の増加)。
- M&Aによるエグジット件数は110件(前年同期比21件の増加)。事業会社への売却が大半。ファンド間売買は少数。
- IPOエグジット件数は11件と前年並み。1,000億円超の大型IPOによるエグジットは1件(例年並み)。

## ファンドレイズ

- 日本を主たる投資対象とするPEファンドは、近年、規模を拡大。

# 1. デイール

• 2025年の日本企業のM&A金額は過去最大の33兆円。以下2タイプの大型案件が牽引。

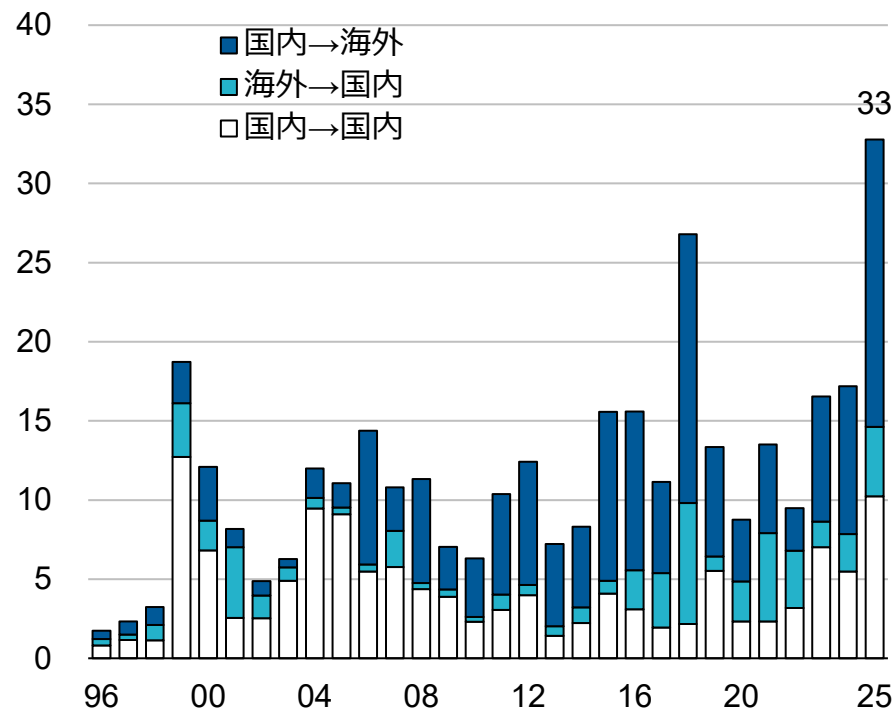
①大企業の事業再編・非公開化

②日本企業による海外企業の大型買収、海外企業への大型出資

• M&A件数も前年を上回った。

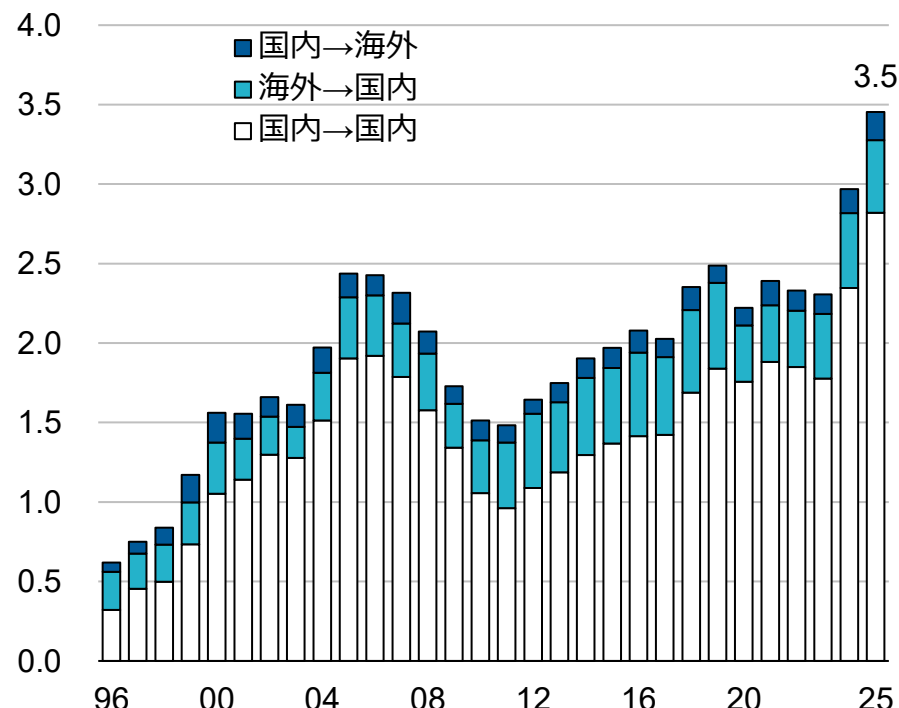
金額\*1,2

単位：兆円



件数\*1

単位：千件



\*1: ターゲットが不動産・ホテル業種の案件、アクティビストのマイノリティ投資案件、ベンチャー投資案件、株式持ち合い案件を除く。公表日ベースで集計。2026年1月8日時点。

\*2: 金額がプレスリリースなどで公式に発表されていない場合を除く。

出典：レコフデータのレコフM&Aデータベースを基にJIC作成

# 大型M&A案件 (2025年：金額上位20件)

- 2025年の大型M&A案件の上位には、PEファンドによるカーブアウト・非公開化案件や、日本企業による海外企業の買収や海外企業への出資が並ぶ。

	ターゲット (業種)	M&A形態	案件規模	買手
1	豊田自動織機 (フォークリフト、自動車車体製造)	国内→国内	4.7兆円	トヨタ不動産、豊田章男氏
2	米OpenAIへの出資 (生成AI開発)	国内→海外	4.5兆円	ソフトバンクグループ
3	米Air Lease (航空機リース)	国内→海外	1.1兆円	住友商事、SMBC F&L など
4	米Ampere Computing (半導体設計)	国内→海外	9,700億円	ソフトバンクグループ
5	スイスABBロボティクス事業 (産業用ロボット)	国内→海外	8,187億円	ソフトバンクグループ
6	ヨークHD (スーパー等)	海外→国内	8,147億円	Bain
7	豪Rhodes Ridge権益 (鉄鋼石事業)	国内→海外	8,000億円	三井物産
8	印Shriram Finance (ノンバンク)	国内→海外	6,823億円	MUFG
9	米DigitalBridge (インフラ投資)	国内→海外	6,200億円	ソフトバンクグループ
10	米WR Berkleyの持分15% (損保)	国内→海外	5,650億円	MS&AD
11	米Aspen Insurance (損保)	国内→海外	5,195億円	SOMPO HD
12	田辺三菱製薬 (医薬品開発)	海外→国内	5,100億円	Bain
13	テクノプロ (技術者派遣・請負)	海外→国内	5,074億円	Blackstone
14	英Diageo東アフリカ事業 (酒類製造販売)	国内→海外	4,654億円	アサヒGHD
15	米CSG Systems (通信事業者向けソフトウェア)	国内→海外	4,417億円	NEC
16	住信SBIネット銀行の持分66% (ネット銀行)	国内→国内	4,200億円	NTTドコモ
17	フジテック (エレベータ・エスカレータ)	海外→国内	4,078億円	EQT
18	田辺ファーマALS治療薬事業	国内→海外*	3,942億円	塩野義製薬
19	西友 (スーパー)	国内→海外*	3,826億円	トライアル HD
20	米Legal & General America (生保)	国内→海外	3,522億円	明治安田生命保険

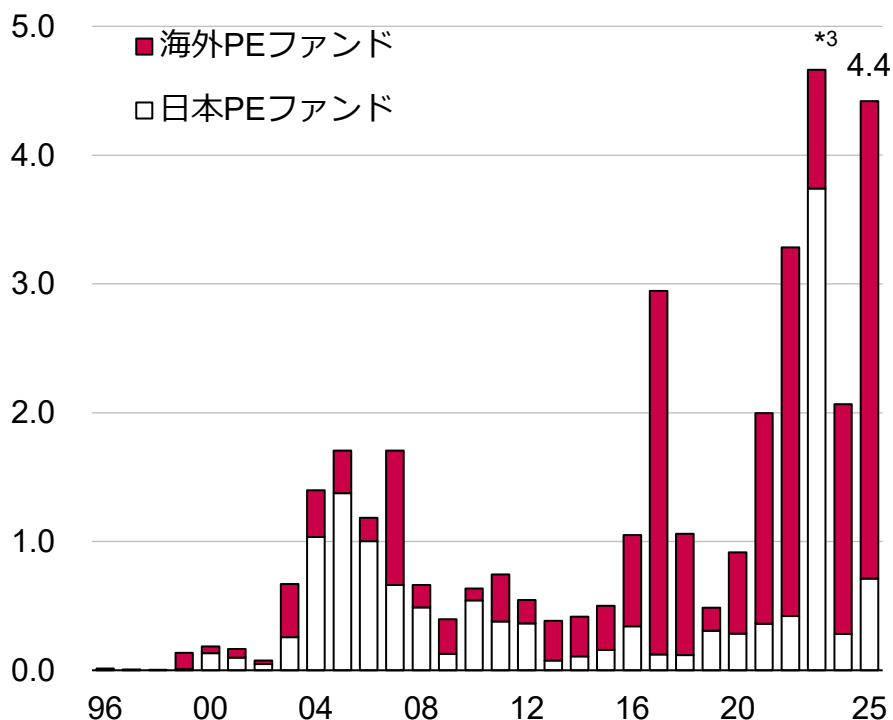
\*: ターゲットが海外PEファンド傘下のポートフォリオ企業であるため、M&A形態としては、海外企業に対する買収として区分した。

出典: 各社公表資料、各種報道によりJIC作成

- 2025年の日本企業に対するPE投資金額(4.4兆円)は過去2番目の水準。
- 大企業のカーブアウトや非公開化が加速。資金力のある海外PEファンドがその受け皿となった。
- 海外PEファンドにとって、日本企業は投資採算的に魅力が大きく映っている模様 (企業評価が低い、経営改善によるバリューアップ余地が相対的に大きい、買収ファイナンスコストが安い等)。

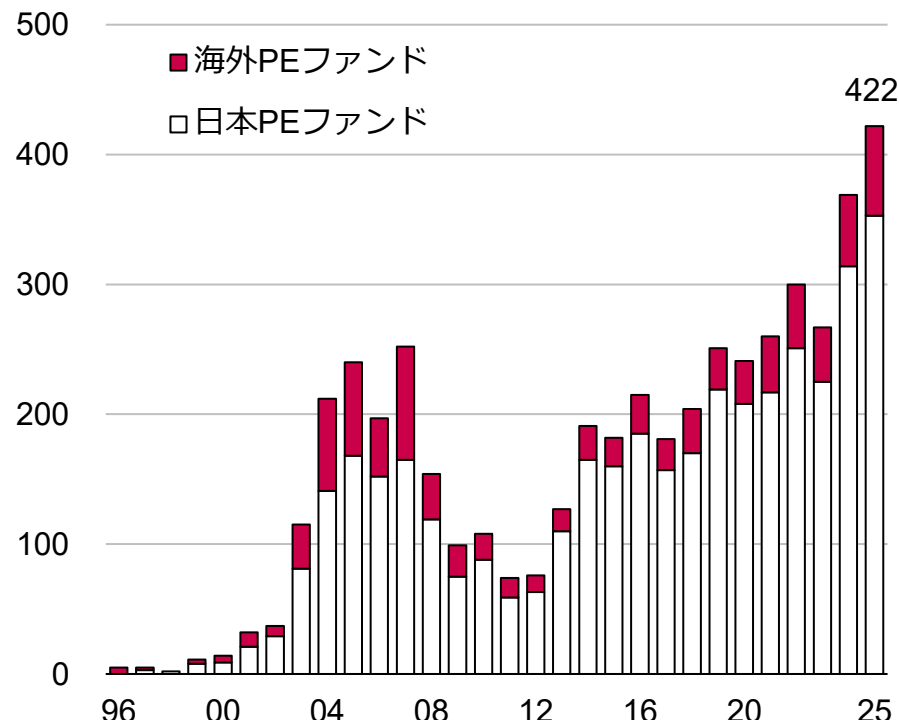
金額\*1,2

単位：兆円



件数\*1

単位：件



\*1: ターゲットが不動産・ホテル業種の案件、アクティビストのマイノリティ投資案件、ベンチャー投資案件、株式持ち合い案件を除く。公表日ベースで集計。2026年1月8日時点。

\*2: 金額がプレスリリースなどで公式に発表されていない場合を除く。

\*3: 2023年の主な案件は、東芝 (買手: JIP、案件規模: 2兆円)、JSR (買手: JICキャピタル、案件規模: 9,039億円)、新光電気工業 (買手: JICキャピタル、案件規模: 6,849億円)。

出典: レコフデータのレコフM&Aデータベースを基にJIC作成

# 大型PE投資案件 (2025年: 金額上位10件)

- 2025年の大型PE投資には、大企業からのカーブアウトや大企業の非公開化に際して、資金力のある海外PEファンドがその受け皿となった案件が多い。
- 日本のPEファンドが関与する大型PE投資も3件あった。

	ターゲット (業種)	投資テーマ	PE投資家	案件規模*	売手
1	ヨークHD (スーパーなど小売)	カーブアウト	Bain	8,147億円	セブンアンドアイHD
2	田辺三菱製薬 (医薬品)	カーブアウト	Bain	5,100億円	三菱ケミカルG
3	テクノプロ (技術者派遣・請負)	非公開化	Blackstone	5,074億円	-
4	フジテック (エレベータ・エスカレータ)	非公開化	EQT	4,078億円	-
5	トプコン (光学機器)	非公開化	KKR JICキャピタル	3,482億円	-
6	牧野フライス製作所 (工作機械)	非公開化	MBK	2,748億円	-
7	ホギメディカル (医療用品)	非公開化	Carlyle	1,446億円	-
8	三菱ロジスネクスト (フォークリフト)	カーブアウト 非公開化	JIP	1,330億円	-
9	日新 (国際物流)	非公開化	Bain	1,181億円	-
10	日本調剤 (調剤薬局)	非公開化	アドバンテッジ LYFE	1,178億円	-

(参考)

11	マンダム (化粧品)	非公開化	CVC	1,020億円	-
12	FICT (プリント基板)	セカンダリー	MBK	非公表 (1,000億円)	アドバンテッジ

\*: 金額の括弧内は報道ベースの金額。

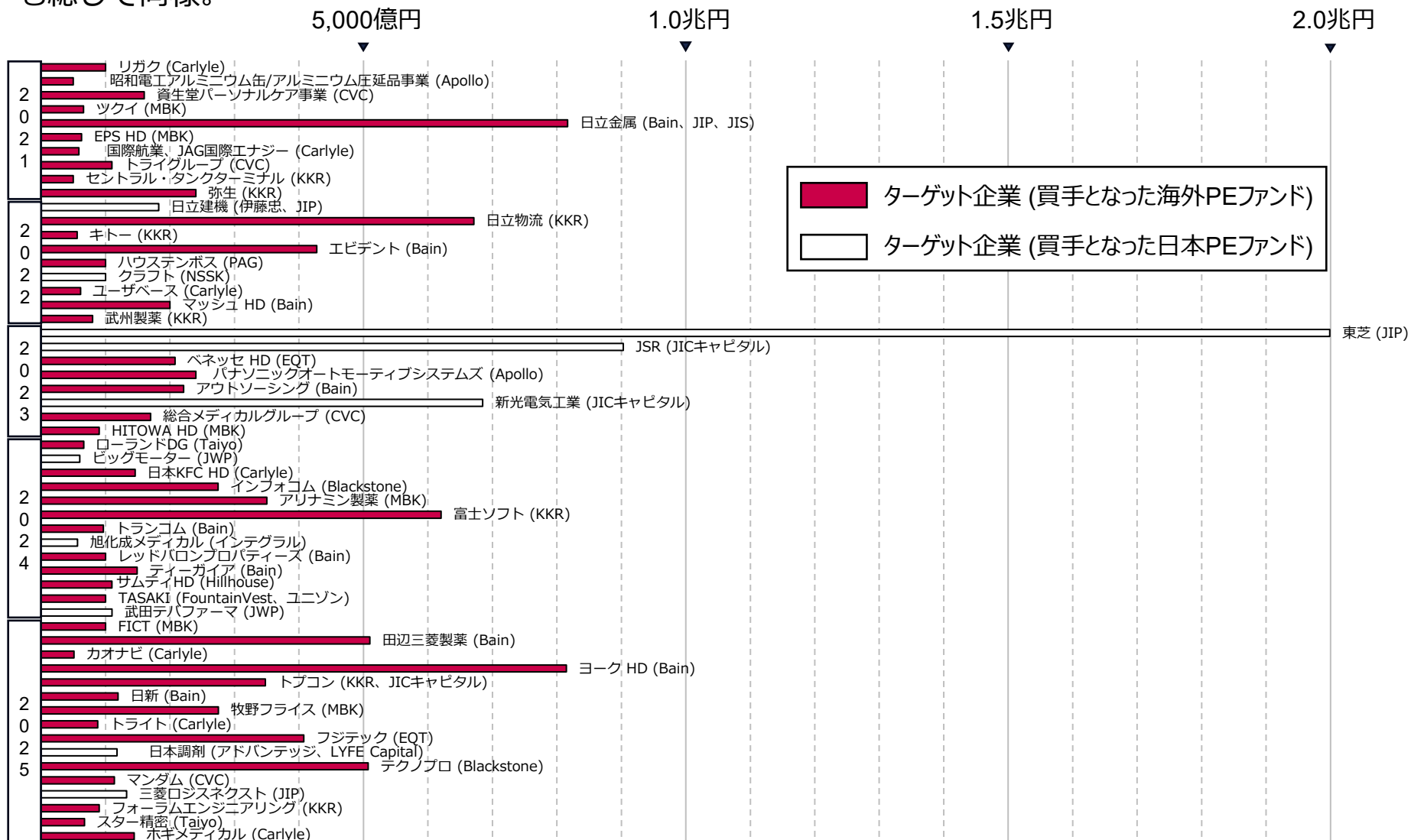
(C) JIC. All Rights Reserved.

出典: 各社公表資料、各種報道によりJIC作成

# (参考) 2021年以降の大型PE投資 (金額500億円以上)



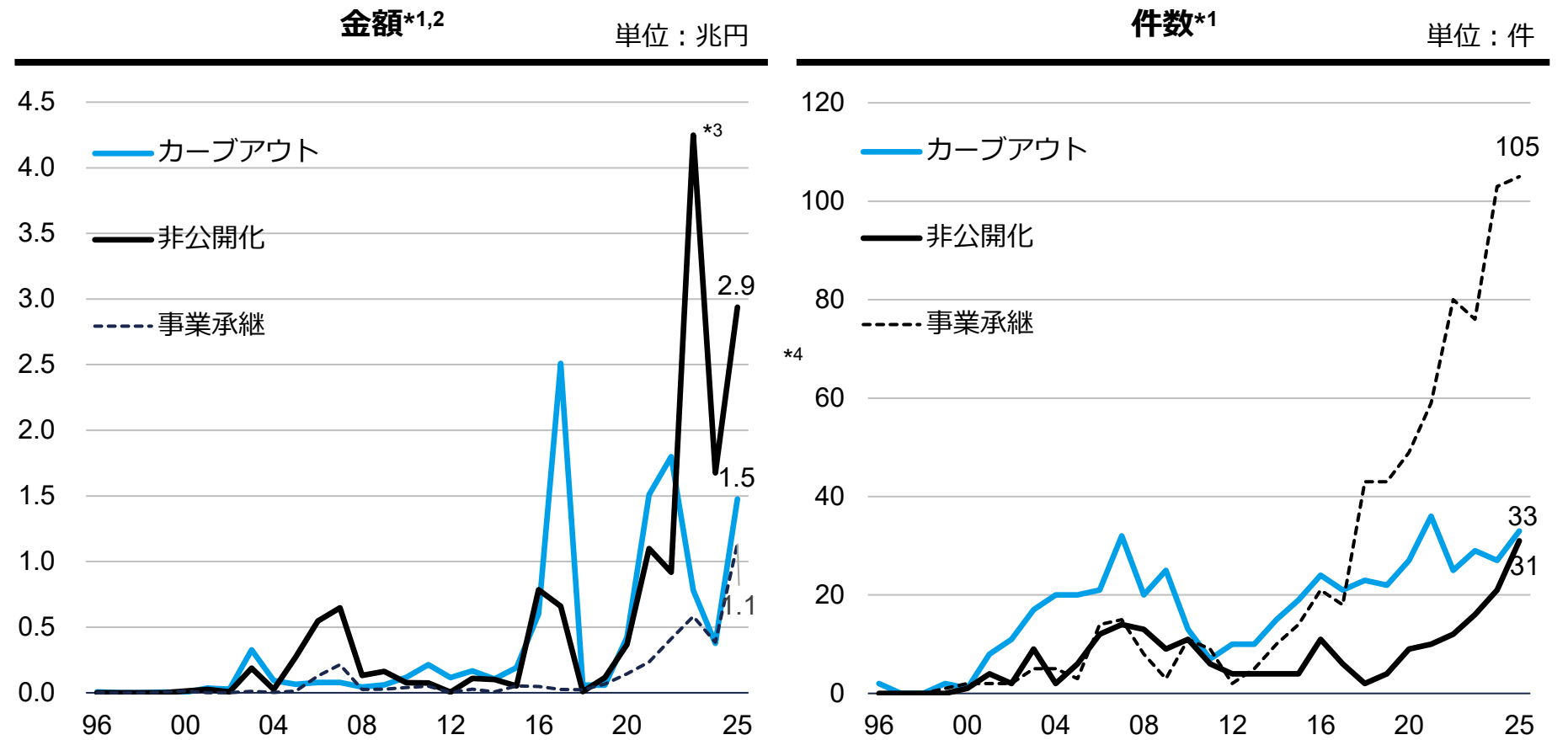
- 歴史的に、日本企業に対する大型PE投資の買手のほとんどは海外PEファンドが占めており、2025年も総じて同様。



出典: 各社公表資料、各種報道によりJIC作成

# 投資テーマ別の傾向 (カーブアウト・非公開化)

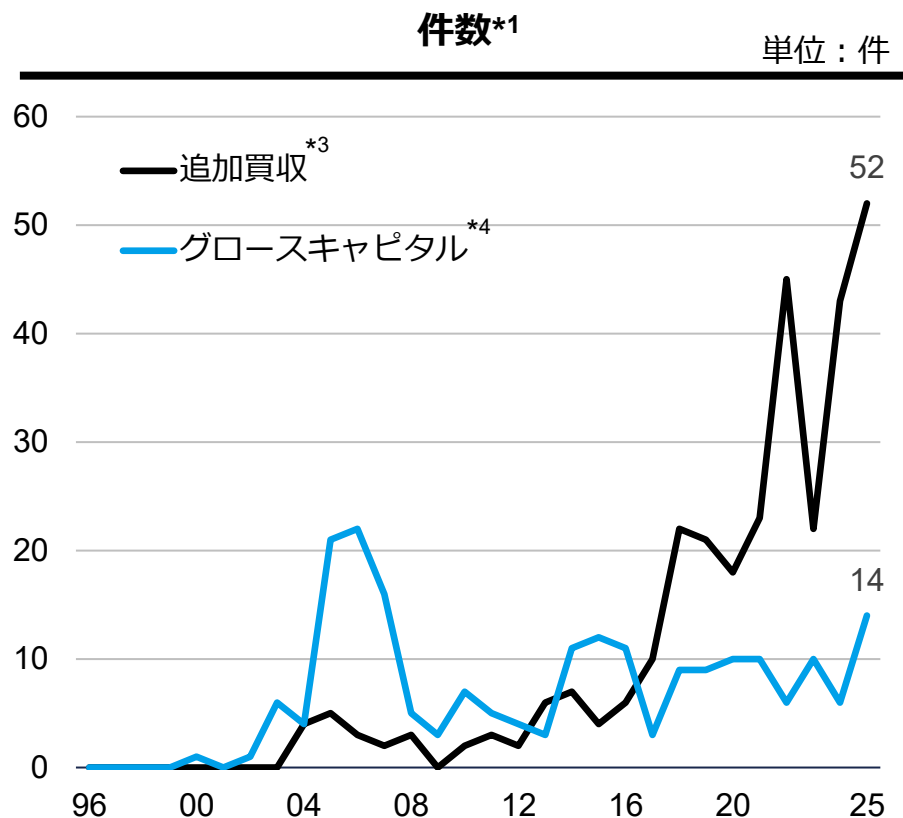
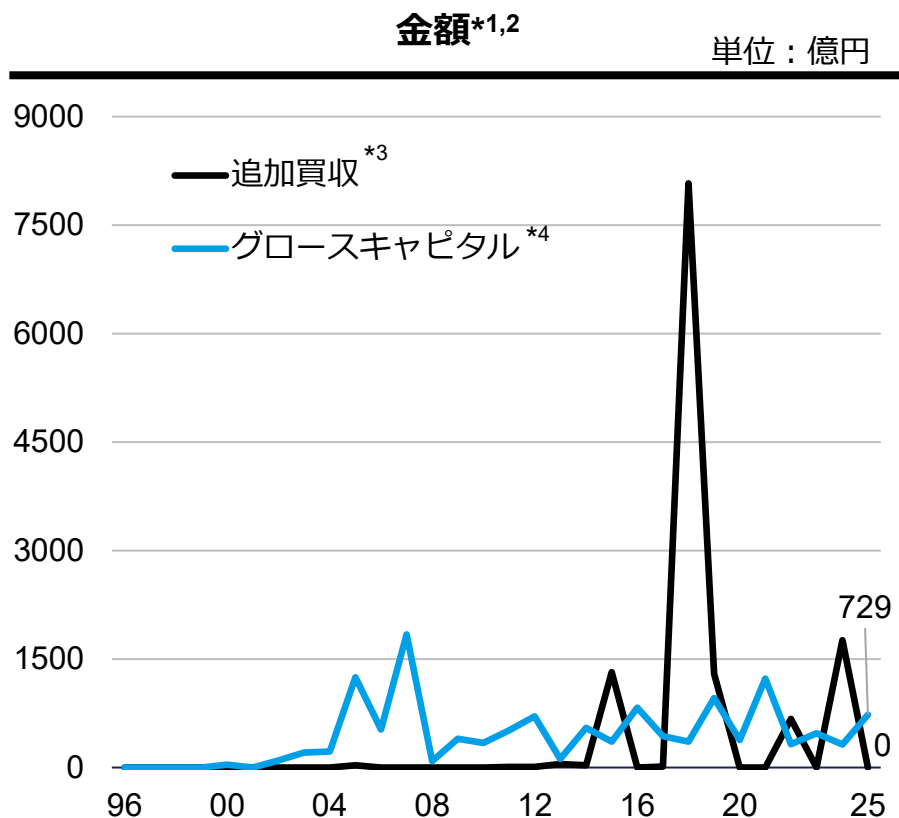
- カーブアウトは前年同期比でみて金額/件数ともに増加。ただし大型案件は少数にとどまる。
- 非公開化も前年同期比でみて金額/件数ともに増加。ガバナンス改革やアクティビストの圧力を受けてPEファンドによる非公開化を選択する企業が増加している模様。



\*1: ターゲットが不動産・ホテル業種の案件、アクティビストのマイノリティ投資案件、ベンチャー投資案件、株式持ち合い案件を除く。公表日ベースで集計。2026年1月8日時点。  
 \*2: 金額がプレスリリースなどで公式に発表されていない場合を除く。  
 \*3: 2023年の主な非公開化案件は、東芝 (買手: JIP、案件規模: 2兆円)、JSR (買手: JICキャピタル、案件規模: 9,039億円)、新光電気工業 (買手: JICキャピタル、案件規模: 6,849億円)。

出典: レコフデータのレコフM&Aデータベースを基にJIC作成

- 追加買収の中心は、PEファンドのポートフォリオによる中小同業他社のロールアップ。
- グロースキャピタルの件数は少ない。2025年は金額100億円超の案件が3件組成された。



\*1: ターゲットが不動産・ホテル業種の案件、アクティビストのマイノリティ投資案件、ベンチャー投資案件、株式持ち合い案件を除く。公表日ベースで集計。2026年1月8日時点。

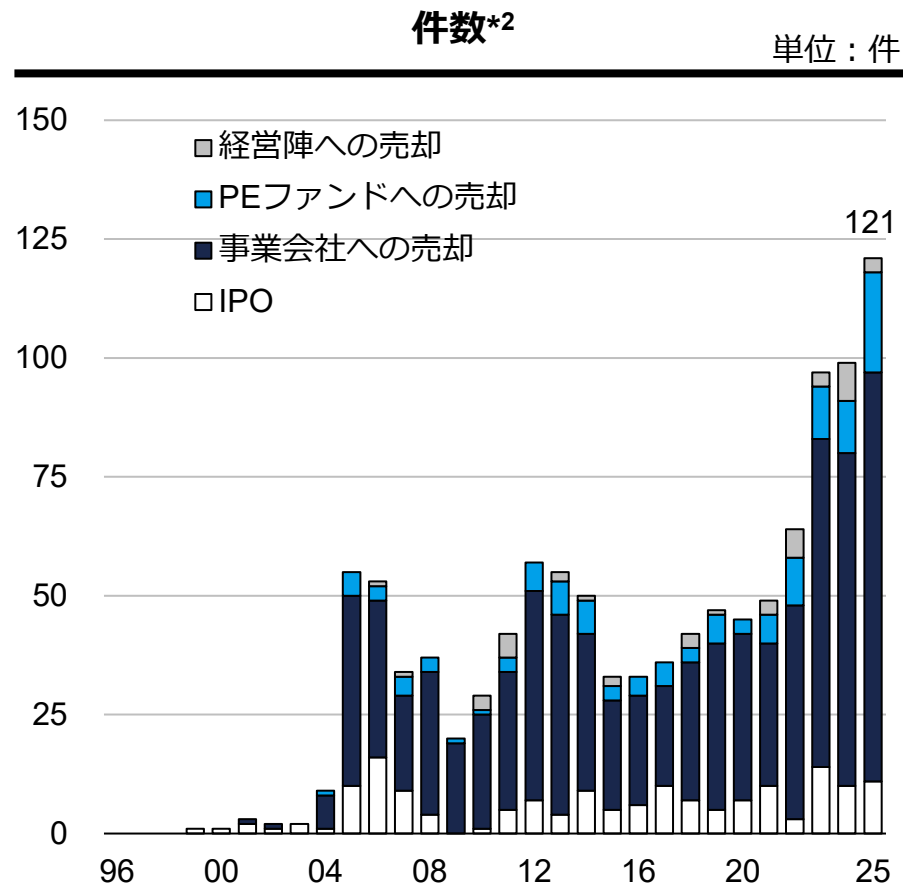
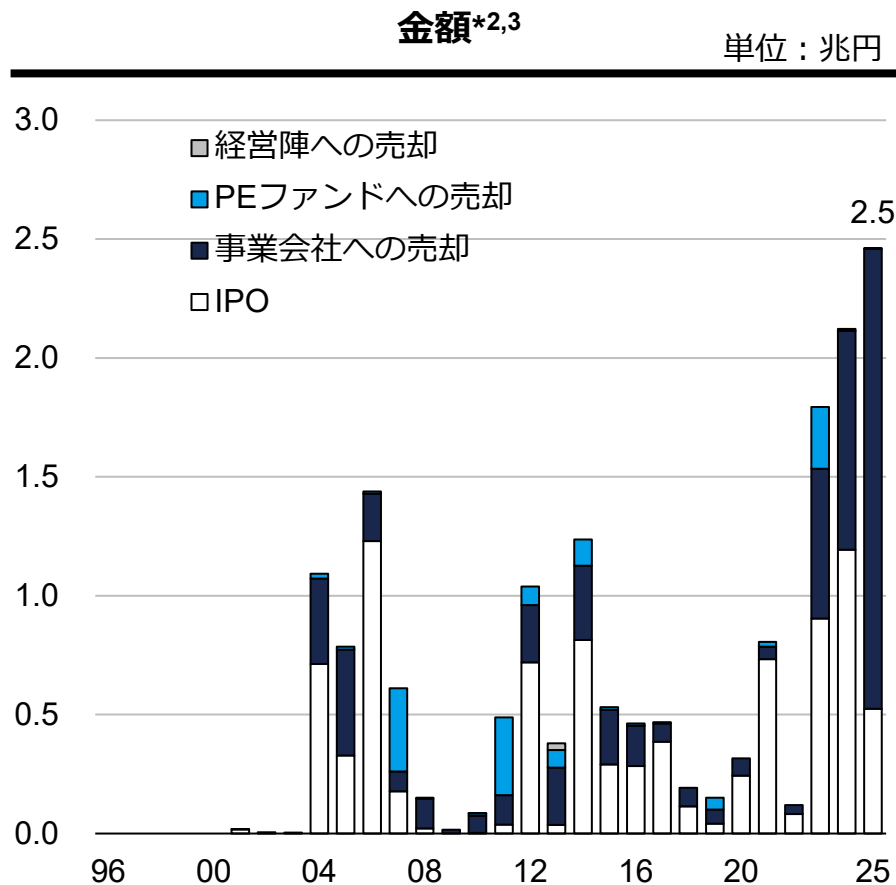
\*2: 金額がプレスリリースなどで公式に発表されていない場合を除く。

\*3: ターゲットには、日本企業の海外法人、海外企業、海外PEファンド傘下の日本企業を含む。

\*4: ターゲットには、日本企業の海外法人を含まない。完全希薄化後10億円以上1,000億円未満の出資案件を抽出。

## 2. エグジット

- PE投資のエグジット\*1件数(M&AとIPOの合算)は過去最高の121件(前年比22件の増加)。
  - うちM&Aによるエグジット件数は110件(前年比21件の増加)。事業会社への売却が大半。ファンド間売買は少数。
  - またIPOエグジット件数は11件と前年並み。1,000億円超の大型IPOによるエグジットは1件(例年並み)。



\*1: 投資先ポートフォリオ企業の一部事業の売却など、パーシャルエグジットを含む。

\*2: IPOは完了ベース。その他は公表ベース(2026年1月8日時点)。いずれも不動産・ホテル案件を除く。

\*3: 金額が発表されていない場合を除く。

出典: PitchBook, a Morningstar company、レコフデータのレコフM&Aデータベースを基にJIC作成

- M&Aによる大型エグジットは、内外の事業会社への売却が多かった。

	ターゲット (業種)	エグジット手法	PE投資家	案件規模	投資期間	売却先
1	田辺ファーマの一部事業 (ALS治療薬事業)の売却	事業会社への売却	Bain	3,942億円	1年未満*3	塩野義製薬
2	西友 (スーパー)	事業会社への売却	KKR	3,826億円	4年	トライアルHD
3	テクセンドフォトマスク (半導体素材)	IPO	インテグラル	2,979億円*2	4年	-
4	エビデントの一部事業 (工業顕微鏡事業)の売却	事業会社への売却	Bain	2,819億円	3年*3	Wabtec (米国)
5	パイオニア (自動車部品)	事業会社への売却	EQT	1,636億円	7年	Innolux (台湾)
6	ロジスティードの持分14.9% (物流)	事業会社への売却	KKR	1,422億円	3年*3	日本郵政
7	FICT (プリント基板)	PEファンドへの売却	アドバンテッジ	非公表 (1,000億円)*1	5年	MBK (韓国)
8	JSR一部事業(対外診断用医薬品事業)の売却	事業会社への売却	JICキャピタル	820億円	2年*3	トクヤマ
9	ADK HD (IPビジネス)	事業会社への売却	Bain	750億円	8年	Krafton (韓国)
10	ビーケージャパン HD (ファストフード)	PEファンドへの売却	Affinity	非公表 (700億円)*1	8年	Goldman Sachs (米国)

\*1: 金額の括弧内は報道ベースの金額。

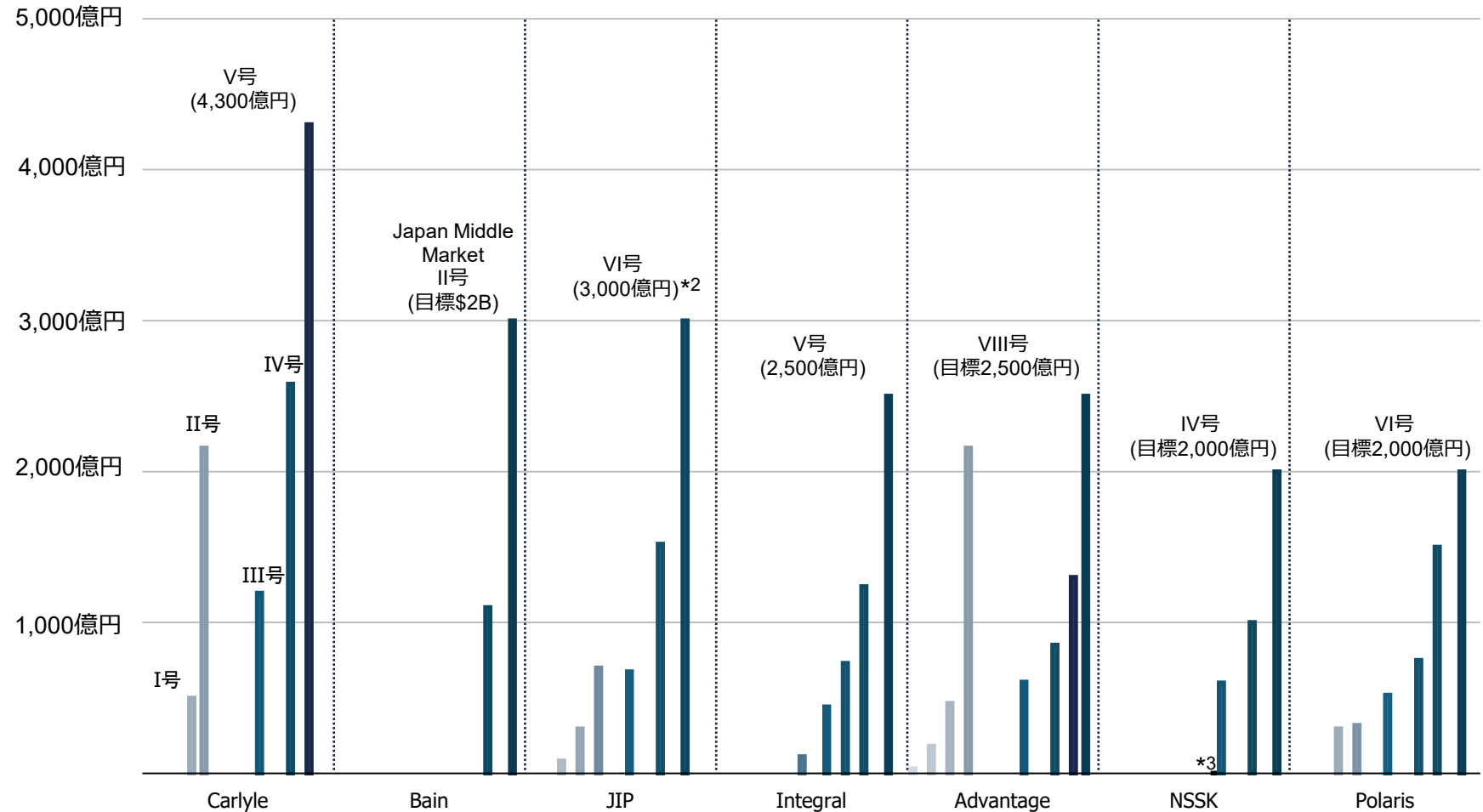
\*2: 公募もしくは売却価格で算出した時価総額。

\*3: 事業の一部または持分の一部の売却。

### 3. ファンドレイズ

- 日本を主たる投資対象とするPEファンドは、近年、規模を拡大している。

日本を主たる投資対象とするPEファンドの募集状況 (公表/報道ベース)\*1



\*1: 直近設定ファンドのサイズが1,000億円以上の国内特化型ファンドを運営するGPの例。

\*2: ハードキャップ (報道ベース)。

\*3: 初号ファンドのファンドサイズは非公表。

出典: 各社公表資料、各種報道によりJIC作成

- 日本企業に対してバイアウト投資を行う海外PEファンドの例は以下の通り。

GP	現行/募集中のファンド*1	サイズ (公表・報道ベース)
Apollo	Apollo Investment Fund XI (募集予定)	\$25B
KKR	KKR Asian Fund V (募集中)	\$15B
BPEA/EQT	BPEA Private Equity Fund IX (募集中) BPEA EQT Mid-Market Growth Fund (2023)	\$12.5B*2 \$1.6B
Blackstone	Blackstone Capital Partners Asia III (募集中)	\$10B*2
Bain	Bain Capital Asia VI (募集中) Bain Capital Japan Middle Market Fund II (募集中)	\$7.0B*2 \$2.0B*2
Hillhouse	Hillhouse Fund VI (募集中)	\$7.0B*2
CVC	CVC Capital Partners Asia Pacific VI (2024)	\$6.8B
MBK	MBK Partners Fund VI (2024)	\$5.5B
PAG	PAG Asia IV (2024)	\$4.0B
FountainVest	FountainVest Capital Partners Fund IV (2021)	\$2.9B

\*1: 括弧内はビンテージ (PitchBookベース)。

\*2: ターゲットサイズ。

出典: [PitchBook](#), a Morningstar company、各社公表資料、各種報道によりJIC作成